

国選択無形民俗文化財

八幡まつりは毎年4月14日・15日に開催されます

八幡まつり



日牟禮八幡宮及びその周辺

平成31年
4月14日15日

祭りの構成及び松明(たいまつ)まつり

八幡まつりは、上之郷(市井、多賀、北之庄、鷹飼、中村、宇津呂、大林、土田)と下之郷(船木、小船木、大房、南津田)12郷の祭りとなされ、4月14日(松明まつり)・15日(太鼓まつり)に行われています(16日にも宮司、巫女、各郷神役が出仕する須寺渡りと呼ばれる祭事があります)。

松明はヨシと菜種がらを材料に作られ、中には10mに及ぶ大きさの物もあり、火を付けながら手で振りかざす「振松明」や引きずりながら持ち込む「引きずり松明」、他にも「とっくり松明」「船松明」と呼ばれるものなど、大きさや形も多種多様にわたります。

各町によって作られる松明は、宮入と同時に持ち込むか、宵宮の前の日曜日から当日の夕刻までに所定位置に立て並べられます。

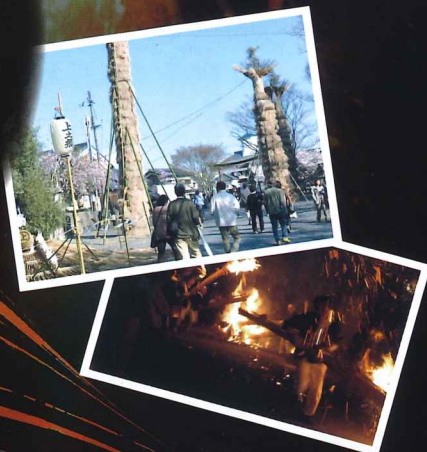
4/14(たいまつ) 松明まつり

14日は午前中に大松明結い、昼から子供松明の奉火、19時より神役太鼓が宮入し、20時から上之郷の松明からその年に定められた順に火が放たれ夜空を焦がします。

上之郷に続き下之郷の松明に火が付けられます。なかでも大房の松明は、寝かせた状態で持ち込み、30度ほど起こした状態の時に松明に火を付け、火の粉をかぶりながら竹で突き上げつつ松明を起こしていく姿は勇壮で、男らしさを感じさせられます。

4/15(たいこ) 太鼓まつり

15日は10時から例祭、15時から太鼓渡り宿入り、16時から大太鼓の渡りが行われます。この渡りも昔からの決まった順番で宮入りしますが、雨天の場合は、代渡りと称し役員と代表者で太鼓なしの渡りの時もあります。また、鳴られる太鼓の打ち方は各郷に伝わるものとされています。



アプリ誕生
近江八幡の火祭り

ダウンロード無料



●近江八幡へはJR西日本の新快速で、京都駅から32分/大阪から60分/米原から20分
日牟禮八幡宮までは近江八幡駅北口から近江鉄道バスにて5分
各まつり当日は駐車場が不足します。公共交通機関のご利用をお願いいたします。

お問い合わせ 近江八幡駅北口観光案内所
TEL.0748-33-6061

発行元 近江八幡観光物産協会 www.omi8.com

日牟禮八幡宮HP <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~him8man/>